

1. はじめに／目的と趣旨

多くの人が「生物多様性」という言葉をよく聞ようになったと言われていました。

その生物多様性に向けて、一歩前へ進めていきます。

一つはYBPのビオトープを常設化したため多くの生きものが訪れるようになり、

観察会でもより多くの生きものと出会えることとなります。

YBPのビオトープでも生物の変遷についても、観察(モニタリング)ができるように検討してみます。

ホタルが減り、ミツバチも減り、いろいろな生きものが減っている現状に対し、

しっかり考えてみようという考えで取り組んでいます。

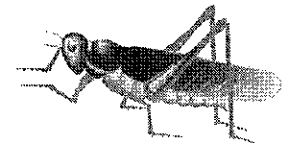
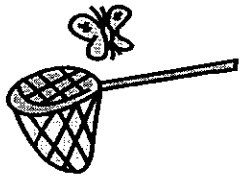
ホタルをはじめ多くの生き物が支え合って生きる生物多様性の街づくりを、

野村不動産のCSRの一環として引き続き推進していくと共に、

横浜国立大学の共催をはじめ多くの団体、地域住民の協力を得て、

地元に着したYBPとして、

地域から愛される野村不動産を目指します。



7. 参考資料 - 1

第4回ホタルがすむ街づくり展2011スケジュール予定

(変更の可能性あります)

	日時	場所	主たる内容
○ホタルを楽しむタペ オープニング	6月11日(土) 15:30~16:45	YBP ベリーニの丘	オープニング式典
〔ホタルかごづくり 草玩具づくり 廃油でローソク作り〕 (火起こしも行う)	17:00~18:50	YBP 〔ウエストタワー7F大会議室〕 〔ベリーニの丘〕	(指導者)NPO日本ビオトープ協会 祖母井巖・櫻井淳 (協力者)横浜水辺の森再生プロジェクト・横浜国大院生他
ホタル鑑賞のタペ 6月11日~26日	19:00~20:30	YBP ホタル観賞館	(協力者)横浜ほたるの会(待っている人にもホタルの話をする)
○ビオトープ観察会 第1回観察会	6月10日(金) ①9:00~9:50 ②10:00~10:50 ③11:00~11:50 ④13:30~14:20	ウエストタワー7F中会議室	※ 内容を事前に学校へ知らせる ①保土ヶ谷小4年生 ②保土ヶ谷小4年生 ③帷子小4年生 ④帷子小4年生 「土壌生物」実物の観察 6月11日にこれを流用
第2回観察会	7月 8日(金) ①9:00~9:50 ②10:00~10:50 ③11:00~11:50 ④13:30~14:20	YBP ビオトープ ウエストタワー7F中会議室	※ 内容を事前に学校へ知らせる ①保土ヶ谷小4年生 ②保土ヶ谷小4年生 ③帷子小4年生 ④帷子小4年生
第3回観察会	9月9日(金) ①9:00~9:50 ②10:00~10:50 ③11:00~11:50 ④13:30~14:20	YBP ビオトープ ウエストタワー7F中会議室	※ 内容を事前に小学校へ知らせる ①保土ヶ谷小4年生 ②保土ヶ谷小4年生 ③帷子小4年生 ④帷子小4年生
○稲づくり			
第1回(田起こし)	5月 9日(月) 13:30~15:00	YBP 角形田んぼ	帷子小5年生
第2回(田植え)	6月 9日(木) 13:30~15:00	YBP 角形田んぼ	帷子小5年生
第3回(稲刈り)	10月21日(金) 13:30~15:00	YBP 角形田んぼ	帷子小5年生
(第4回(もみすり))	11月 日()		(STAFF作業)
第5回(収穫祭)	11月18日(金) 13:30~15:20	YBP 光のホール	餅つき収穫祭 帷子小保護者参加予定、オフィスワーカー参加予定

7. 参考資料 — 2

◇協力団体(予定)

共催 横浜国立大学

後援 NPO日本ビオトープ協会

協力
(予定) 横浜ほたるの会

神奈川県内水試(県の試験場)

稲づくり農家三村さん
(保土ヶ谷元気村の人達も協力予定)

保土ヶ谷区役所

桜ヶ丘森の仲間たち

保土ヶ谷小学校・帷子小学校

浜っ子クラブ・かるがもキッズクラブ

YBP内のテナント企業と商店

保土ヶ谷フリーマーケット実行委員会

◇実務担当者

野村不動産 法人カンパニービルディング事業部

YBP事業部 古屋部長代理・中瀬景子

株式会社 千修

営業第三部 部長 坂本直樹

株式会社 カジオカL.A

代表取締役 梶岡幹生

営業部長 山本信男

企画部長 梶岡美生

「ホタルを楽しむ夕べ」6月11日(土)15:30～

1. ◇オープニングセレモニー 6/11(土)

15:30-16:45: ベリーニの丘ホタル観賞ブース前

来場者: 親子連れ地域住民・テナント約80名

1. 主催者挨拶(野村不動産 上席執行役員 中嶋 忠)

2. 共催者挨拶(横浜国立大学 鈴木邦雄学長)

3. 来賓と協力団体の紹介

4. メダカ・ドジョウ・ヌマエビ・マキガイ・ヤゴの話(県水試の方予定)
「生きものみつけた」

5. メダカ・ドジョウ・ヌマエビ・マキガイ・ヤゴの放流
(子供たち80名予定)

6. 来場幼児・児童・住民・テナントの感想発表

* 協力・介助: 横浜国立大学大学院生 他

(司会: 野村不動産 ○○○○)

2. ◇ホタルかご, 草玩具づくり, 廃油からローソクづくり
(火起こしも行う)

17:00-18:50: ウエストタワー7F大会議室

17:00-18:50(ローソク作りと笹舟・草笛) ベリーニの丘

来場者: 親子連れ地域住民

ホタルかご60名・草玩具100名・ローソク60名

* 指導: 祖母井巖先生, 櫻井淳先生

* 協力: 桜ヶ丘水辺の森再生プロジェクト

協力: 保土ヶ谷元気村

協力: 保土ヶ谷フリーマーケット実行委員会

横浜国立大学大学院生 他

(司会: 横浜国立大学大学院生)

3. ◇ホタル観賞の夕べ

19:00-20:30: 観賞ブース前

* 協力: 横浜ほたるの会

7. 参考資料 — 4

総合学習の時間としてビオトープ観察会のあり方

1.ビオトープ観察会の目標	2.目標達成のための具体策
<p>①自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、問題解決をする能力を育成する</p> <p>②学び方やものの考え方を身につけるようにする</p> <p>③自己の生き方を考えることができるようにする</p>	<p>①センス・オブ・ワンダーの気持ちを持つようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センス・オブ・ワンダーとは 何故?どうして?美しいね!という感覚のこと この気持ちを持ち続けるように指導する <p>②観察会では教えるのではなく、調べ方が分かるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図鑑や育て方の本の使い方を共に学ぶようにする <p>③気付きの発表を積極的にする機会をもつ</p> <p>④生態系サービスの恵みについて学べるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系サービスとは 植物などが作り出す酸素により、農作物を食べ 木綿や絹などの繊維から成る衣類を身につけて いる私たちの暮らしは、生態系サービスなくしては成り立ちません